

ふるさと

つながる未来、切り拓け農業新時代

1

vol.261
2020





秋田ふるさと農業協同組合
代表理事組合長

小田嶋 契

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年も全国各地で豪雨や台風による甚大な被害が各所で発生しました。幸いにも当管内では大きな被害は見られませんでした。が、夏場の異常高温などは農産物の栽培管理を難しいものにしたのではないでしょう。特に、園芸作物の一部においては、販売価格の低下がみられました。

しかし、生産量が増加傾向にあることは、皆様が生産現場で汗をかき、絶え間ない努力を続けられたからだだと思います。その結果今年度の販売取扱高は200億円を超える見込みです。過去に一度、平成15年度に販売取扱高が200億円となりましたが、今年度はそれを上回ります。

ただ、今後の経営環境は決して容易なものではありません。マイナス金利政策の拡

大を示唆する動きなどは、信用事業の縮小を懸念させ、農協経営に大きな影響を与えることが予測されます。それを回避すべく、経営環境の変化に対応し、皆様が本当に必要なとしているサービスを提供し続けるため、これから最善解を求め続けてまいります。農協の将来を語る際、少子高齢化や後継者不足という言葉は珍しいものではなくなりました。農業が国の政策に影響を受けることも事実です。

しかし、それらに対し「そういう時代だから」「国が決めたことだから」と歩みを止めることがあってはいけません。知恵を巡らせ、頭を使い、悩みぬいた先に必ず光があると私は信じています。その光を見出し、具現化し、あるべき姿を実現することが農協の使命です。皆様と協同の精神のもとに結集し、大いに議論することが、この地域で農を継いでいくために重要なことであると肝に命じています。

皆様が安心して営農ができる基盤を構築するため、持続可能な農業経営を実現するため、役職員一同「頭は低く、足は軽く、心は熱く」を行動指針として頑張つてまいります。引き続きご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。年頭のあいさつといたします。

初春のお慶びを

申し上げます

代表理事組合長	小田嶋 契	理事（大雄地区担当）	佐藤 寿一
代表理事副組合長	柴田 多一	理事	高橋 稔
代表理事専務	佐藤 誠一	理事（大森地区担当）	菊地 寛之
代表理事専務	鷹田 直	理事	加藤 司
代表理事	高橋 康男	理事	高橋 柳作
代表理事（雄物川地区担当）	本間 恒	理事（千文字地区担当）	藤原 英樹
理事（金沢地区担当）	加藤 堅之助	理事	柿崎 孝一
理事（横手地区担当）	高階 ヤス子	理事	山本 輝悦
理事	佐藤 忠太郎	理事（増田地区担当）	鈴木 敏美
理事	鈴木 利比古	理事	田中 隆
理事	高橋 英俊	理事	中村 正子
理事	野中 長一	理事	新山 容子
理事（山内地区担当）	柴田 忍	代表監事	赤川 昭夫
理事（平鹿地区担当）	橋本 暁	監事	高橋 康夫
理事	柿崎 大二朗	監事	松井 均
理事	高橋 司	監事	眞田 久之
理事（里見地区担当）	高山 明	監事	大久保 清助
理事	堀田 忠久	監事	佐藤 和弘
理事	小西 均	常勤監事	渡邊 登
理事	東海林 光博	員外監事	田口 哲



02 組合長あいさつ

【新春特別対談】

04 横手と農業の進化を語る—

10 ふるさと産品 令和元年を振り返る

14 第21回 J A秋田ふるさと
女性大会・家の光大会

16 J Aグループ秋田組織再編協議会レポート

17 新春クロスワードパズル

18 インフォメーション

20 ふるさとの民話
J Aの概況 編集後記

寒じめほうれんそう（大森）

寒じめ…敢えて寒風にさらし植物の生命力を引き出す栽培法。糖度がまし、肉厚になるそうです。12月中旬から出荷が始まり3月まで続きます。

雪に覆われたハウスの中、ほうれんそうの緑が逞しく輝きます。





 JA秋田ふるさと
代表理事組合長
小田嶋 契

 横手市長
高橋 大 氏

【新春特別対談】 横手と農業の進化を語る

2020年10月に横手市で種苗交換会が行われるのを前に
令和として初の新春特別対談。

横手市と、JA秋田ふるさとが紡ぐ横手の未来のために、
今、何が必要とされ、何を行っていくのか——。

高橋市長を迎え、小田嶋組合長と共に語り合います。

災害対策について

市長 2019年もお世話になりました。2020年もどうぞ宜しくお願いします。
昨年を振り返ってみると全国的には台風による大きな災害がありました。

組合長 この地域は雪が降った時の対策は考えられていても、集中豪雨に関しては他の地域と一緒に生活を脅かされる危険性があります。

市長 雪に比べ、豪雨に対しての耐性は不十分だと思います。

2017年には大森地域などが記録的な豪雨の被害にあいました。

組合長 記録的となったその豪雨の際も緊急避難先として、農協の施設を利用できないかと要請がありましたが、対応が瞬時に出来ませんでした。とても反省すべきことだったと考えています。

市長 全国的にも深刻なニュースがあり、市民の防災・減災への意識が高揚している中、2019年の7月にJA秋田ふるさとから「災害時における一時避難所の提供及び物資の供給等の協力に関する協定」を提案いただいたので、これですらに横手の防災・減災の力が向上できました。非常に感謝しております。

組合長 施設によって、使える・使えないがあるので、シミュレーションをして、運用できるようにしたいです。

市長 災害時に右往左往しないように、シミュレーションは大切です。

組合長 物資の供給だけでなく炊き出しなど、マンパワーの体制を農協でも準備する必要があります。地震なども含めて、こういった災害が起きて、すぐ動けるように、心構えや訓練などが必要だと思います。

市長 横手には農家さんが多くいることを、とても心強く考えています。豪雨の際、多くのゴミが散乱しましたが、農家の皆さんが自分や親類の軽トラックや機械を使って対応していました。都会ではまず無理です。

組合長 地方だからその民間の力があります。農業者が多いこと、それによって機械力があることが、この地域の強みです。

市長 公共的な防災のインフラとして、施設や設備の強靱化は進めています。灌漑設備や老朽化した施設の更新を行ったり、排水能力を高めたり、ダムによる利水など、ハードとソフトの両面で対策をしていきます。

組合長 そういった備えと併せて、駅前など中心部の避難場所対策などを、バランス良くやっていく必要があります。地域住民が安心して生活できるように、個々の役割・能力を、どう発揮するか考えていきます。

アリーナなどは防災拠点として、必要だと認識していて、防災対策の施設を災害時以外には音楽やスポーツのイベントなどでも使用するなど、防災のためのインフラにも、そういった面が必要だと思います。

市長 平常時に、多数の人が利用しても機能する施設は、非常時においても、その施設が頼もしい存在となります。平常時は地域振興のために利用でき、いざとなったら避難場所にもなれる施設というのが理想です。

組合長 いっ起こるかわからないことに多額の費用をかけるという事は難しいことなので、施設の維持や、採算のためにも、普段の活用も併せて考える必要があります。防災を考えたつ、民間の力や公共施設ということを考えて全体最適を考えていかないといいけません。

防災の施設は不要と言う人はいないと思います。現在、想定される規模での災害に対してどうするかを全市民で考える必要があると思います。

市長 これから建てる公共の施設は、耐震がしっかりしていて、いつ何時、避難しても大丈夫でなくては

ならないと考えています。

中心市街地にも新しく耐震性能を備えた建物群がこれからできようとしています。普段はビジネスや商用として、または楽しみや交流の場として活用してもらいながら、非常時の備えとしても、機能させなければいけないと考えています。

組合長 立体駐車場も構造によって避難場所になりえると思います。土地が多いから不要に思えますが、雪の多い横手には必要だと思います。

市長 非常時、屋根付きで大人数が入れる存在として役に立ちそうです。

組合長 冷暖房など完備された施設であれば理想ですが、まずは雨露をしのげる場所がどれだけあるかということが重要だと思います。

その点、物を作るときは防災の意識を込めることが重要です。

市長 一時的な緊急避難場所というか、快適とまではいかないまでも、短期間、最低限過ごせる場所と、長期化した場合の場所は違ってはいはずだと思います。

組合長 何が起こるかわからないからこそ、現在足りないものは何かという事を考えて対策をすることが大切です。

東日本大震災の時に考えたのは、色々なものが不自由となったときに

地域のインフラを支える組織として十分な準備をしていかないといけないということです。

駅前再開発について

組合長 先ほど施設の話もありましたので、駅前の再開発に関してお話しさせていただけますが、改めて横手駅東口周辺を客観的に観察すると、周辺の建物の老朽化や利用状況など、課題の多い地域だとわかります。

市長 市外からお越しいただいた方にはマイナスの印象を与えてしまっているということもあります。

組合長 昭和50年代の土地区画整理事業では商業地域として開発されましたが、現在はビジネス街となりました。そんなに賑やかな要素は必要ありませんが、建物全部も古くなり、商業ビルが空きビルとなっています。

これを見た地権者も「このままだとダメだ」と思っていました。

東口は、駐車場が分散していて、混んでいる所と、そうでない所の差が大きいです。農協本店も建てられた当時の職員数は、今の半分ほどでした。そうすると、その当時の職員数や来客数で考えて設計されているので現在では手狭になっています。建てた時と現在の活用の方法が違うため、自分たちの駐車場は足りません。しかし、周りの駐車場はガラガラと空いています。労働環境も決し



て良いとは言えませんが。

当初は広々とした土地に移転することも検討しましたが、駅前から農協の本店がなくなると、空洞化が決定的となり、その問題が地域社会に及ぼす影響について考えました。

市長 そうですね。移転となると、大変な影響を与えたと思います。

組合長 農協は横手で一番大きい民間組織と言われる分、その本店がどこに移転するというのは、地域経済にとって重大なことです。

JAバンクの本店として、またシャイニーパレスを利用していただ

いている地域の方々のことも含めて考えると、農協の都合だけを考えることはできませんでした。

市長 社会的都合ということですね。

組合長 社会的な都合を考えた場所を選定しなくてはいいけません。

ただ再開発という話がなければ駅前に残るという選択肢は選べませんでした。

市長 それは難しかったかもしれませんがね。

組合長 農協としての存在意義の考えが行政とも一致したことが大きかったです。また地域の方や組合員以外の皆様の想いも後押しとなりました。行政ならび皆様には感謝したいです。

農協の社会的責任を改めて認知しました。

市長 横手の基幹産業は農業。農協は地域産業の軸軸です。横手の顔となる所に存在し続けてもらうということは、横手の内外に住んでいる人にとっても、意義のあることだと思います。

組合長 驚いたのは、駅前の企業の中には地権者もいれば、テナントの企業や県外資本の企業もあるなど、様々な状況を抱えていることから交渉の難航が予想されましたが、実際

に会うと理解を示し、どの企業も協力的でした。これは、駅前を拠点に事業している企業にとっては如何に駅前を重要視しているのかを示すことでした。

地元であるなしに関わらず、駅前を良くしようという気持ちや、それに向けてまとまってくれたことは、とても嬉しく、感謝していることです。

その方たちは農協が再開発の核でなくてはならないと言っていただけでしたが、農協の移転問題の最適解が見つかりました。

市長 権利関係や商売も、各々の都合もバラバラなので、一斉に駅前を再開発することは難しいと考えていました。

組合長 既に建て直しを行い、再開発の必要性が薄い人も地域が良くなるのであればと参画していただけたことは特に大きかったです。

市長 本当に有難いことです。

組合長 ただ自分としては「ようやくここまで来たな」という感覚を持っています。

市長 私は「意外に早かったな」と考えています。後回しもできない案件でしたが、とんとん拍子に行くはずがないと考えていました。ここまですでに進んだのは組合長のリーダー

シップがあつてこそです。

組合長 皆が協力的でしたので、こじれず、進み、まとまりました。

市長 現在の駅前の景色も皆の気持ちをまとめたのかもしれないですね。

組合長 本店の老朽化をなんとかしようと考えていても、実行に移すタイミングも計画をたてるのも、補助金の入ってくる事業だという事で難しかったです。補助金を頂けるとは決まっていなかったのに計画を立てるのも、計画もないのに補助金の話をするのにも難しいです。どちらが先かという話になります。また内外のスケジュールの調整も大変でした。

市長 焦ると、後から、これもやれば良かったと後悔を生みます。

組合長 話だけが先行し過ぎてダメです。ゼロの状態です。どうしますか」となっても話は進みません。自分たちでこれが最善というものを作り上げるのも、スケジュール的にかなり大変でした。様々な手続きを踏まないといけませんし、色々な議論もしないといけません。

準備組合やコンサルタントや理事会にも話したのは「時間は決まっているが、端折って良い事は一つない。その短期間の中で、様々な検討やプロセスは全部やっていかないといけない」ということでした。



そんな中、携わって協力してくれ
た方は皆、頑張ってくれましたし、
行政の後押しは本当に有難かったで
す。

市長 様々なことを交えながら、つ
じつまを合わせながら「神業的」に
うまく進めてくれたと思います。

また「奇跡的」に様々なタイミン
グが遅くもなく早くもなく絶妙に噛
み合いました。

組合長 駅前への共通の想いがそう
させたのではないのでしょうか。その
想いが話をスムーズに進める入り口
になったのと思います。参画した人

は、みんな自分たちの都合で考えて
いなかったと思います。

市長 「駅前をなんとか良くしたい、
横手を良くしたい」という想いの人
の集まりでした。

組合長 そういった人とタイミ
ングが合致したことが「奇跡的」だと言
えました。その想いに応えるため
も、必要な事は、全部徹底して行っ
たつもりです。

市長 それは大切な事で、そうしな
いと、後々、禍根を残す可能性があ
ります。

組合長 準備組合の理事長としては
必要なことは一つ残らずやるという
意識でしたので、時間がかかったか
どうか、判断するのは難しいですが、
市長から一連の流れが「神業的」だっ
たと評価していただけたので、もた
もたしなかったと、安心しました。
短期間で集中して考えて、繰り返し、
繰り返してやっていた分、みんな
への周知は済んでいると思っていま
したが、最近、別の会合で話した時
に、そこにいた方に本店が駅前から
離れない理由、再開発の意義をよう
やく理解したと言ってもらいまし
た。再開発という話は出ていても、
なぜするのか、どんな風に行うのか
が伝わっていませんでした。その経
験から、継続的に市民の方にお話し
していく必要を感じました。

この再開発のスポークスマンは市
報であり、農協の広報であります
が、そろそろ、その他の色々な媒体を利
用して市民理解を深めるタイミ
ングにきていると考えています。

市長 ぼやけていた青写真が、だん
だん、はっきり鮮明になりつつある
ので、より情報を発信していくこと
は良いことだと思います。

再開発については予算も時間も限
られた中で十分に検討して、禍根を
残さないように、そして前向きな議
論を進めていきたいと思っています。

種苗交換会の開催について

市長 前向きな議論と云えば、20
20年は横手市で種苗交換会が開催
されます。賑わいの創出であつた
り、他の地域がまだやってこなかつ
たことをさせてもらって、「さすが横
手！」と言ってもらえるように、さ
らには次の開催地がやりづらくなる
くらいの種苗交換会を市としても考
えていきたいです。

組合長 ふるさと農協は過去4年連
続で農業産出額が全県一位となつて
います。まだはつきりとしていませ
んが今年度の産出額が2003年以
来、久しぶりに200億円に達し、
今年度も県内一位になる見込みです。

市長 今年度は猛暑もあり、厳し
かった作物もある中、複合産地だと

いうことで、フォローできる作物も
多く、近年、苦勞していた作物が回
復傾向にあったことも大きかったで
すね。

組合長 はい。良いタイミ
ングで交換会が回って来ました。

その農業者の祭典である交換会
ですが、開会式には「新穀感謝祭」
があります。その年の収穫に感謝する
神事は一人でも多くの生産者にご覧
いただきたいです。

その上で、横手市が農業産出額に
おいて県内トップだということを、
充分にアピールしたいイベントを見て
いただきたいと考えています。具
体的に何をやるのかは、まだ何も決
まっています。

市長 とにかく「農業の未来は明る
いよね」というのが伝わるものにし
たいと考えています。県内だけでは
なく、東北各地から、ご来場いた
けるものと考えていますので、「俺た
ちも負けていられないな」と、いい
意味での刺激になれる交換会になれ
ば良いなと思いますが、一番は地元
の農家の皆さんがさらに奮起するの
を促す、また農業への従事に関心が
ある方が一歩前に踏み出すきっかけ
になるように明るい未来や農業を表
現したいです。

組合長 秋田県は東北で産出額は最
下位と言われますが、今のよう若い
人も農業に対して関心を持ってい

るという事は今までに無い事でチャンスだと思えます。農業の大変さ・辛さだけでなく、魅力や良さであったり、「農業に対してこんな熱い気持ちを持って頑張っているんだぞ」というものも伝わってくれば良いと思います。農業をやる・やらないに関わらず、農業にもっと関心を持ってもらえれば有難いです。農業の明るさを実感してもらいたいと考えています。

市長 農業もだんだんハイテクになって、若者が興味を持ってくれるものになっています。

組合長 昔の農業経済学者は農業の発展においてイノベーション（技術革新）が起こるとき、農業者が主体・主役になることはないという前提で制度設計を行いました。

しかし今の農業を見てみると主体的に農家がどんどん先進的なものを見聞きして取り入れているので、昔の農業経済学者が言っていた事とは違って、イノベーションの中心は農業者になっていると考えています。

農家が農業になびくのではなく、逆に農家が行政などを動かしていく事を考え始めています。農協など関係者が情報提供等の後押しやサポートをするような世の中になりつつあります。

確かに人口減少とか少子高齢化とか人口密度の減少などが問題となっていますが、中国やアメリカの人口

密度などと比較すると、農業の問題としては、些細な事と言えるのではないのでしょうか。

市長 農家の戸数が減っているのに産出額が200億円を達成したということは、一人の生産能力が向上していることの証明になっていると思います。生産力が上がれば所得が増えます。農地は限られている、農家の戸数が減少していることを考えれば、今後の農業の目指す方向性と考えます。

組合長 稲作は、一人当たりの生産力が良くわからない作物だと思います。条件によつては3町歩が限界と言う人もいれば、ある地域では個人で100町歩規模をこなしている人もいます。インフラなどの問題もあるが、モデルを見い出せていないのが稲作だと思います。

かつて大規模農業という大潟村の農業だったが、今や大潟村の農家は大規模農家と言えなくなっています。そうやって変わりつつあるのが稲作ですし、ほかの分野もイノベーションにより、変わっていくのかもしれない。そうした変化が生産現場を主体に芽生えてくるのではないかと考えています。なので農業に對して、お先真っ暗とは考えておらず、今までの限界を、別の方法で打ち破る人が全国各地に出てくるのではないかと考えています。農業はまだまだ成長できると思います。

市長 日本は日本なりの風土であったり、条件でやるしかありませんが、海外の規模をみると、まだまだやれる可能性もあると思います。

組合長 防災の話ではないが、民間の知恵と力を信じる必要があると思います。そのためには、あれはダメ、これはダメというのではなく、農家そのものの多様性をしっかり認めるところから全ては始まると思います。個々の状況は違いますが、これまで培ってきた日本の知恵や技術が発展を支えるのではないかと思います。いかに個々の多様性を呼び起こしていくか、今回市長と対談して、それを感じました。

市長 多様性があるゆえに成功が生まれ、半面、失敗も生まれます。みんなは成功の部分は真似していくんですけど、成功事例という画一的な枠に当てはめてしまうと、枠を超えた挑戦が無くなってしまいます。

組合長 これから若い人に繋いでいく事を考えると、先人が培ったものを受け継ぎながらも農政なり、農協なりが過去の失敗を充分に検証する時期に来ていると思います。

マスコミはふるさと農協を改革派と言うが、実際は違います。やっていることはオーソドックスな農協です。他県を見ると、もっと革新的な農協がいっぱいあるが、ふるさと農協は伝統的なことを環境に合わせて

進化させて行っているだけです。だけど、それが逆に珍しいと思われる世の中になってしまいました。

われわれ農協は、生産振興を一生懸命やる所だと思っているから、生産振興を第一に考える手法を進化させなくてはいけないと考えています。だから「JA自己改革」とは言っていますが、組織にとって必要なのは改革ではなく「進化」が大切だと思います。

市長 改革は壊すことですからね。

組合長 同じことをやるにしても進化させることが大事で、その歩みを止めず、どういった風に進化させるかを真剣に考えなくてははいけません。改革云々ではないと思います。世間で言う改革は、自分の都合の良いように、周りが変わって欲しいというものが多く見られます。

市長 改革や変革などは行き詰ったり、ショックな事が発生した時に行われるものです。よほどのことがないと改革は求められません。常に求められるものとなると、改革ではなく進化であり、それは重要なことだと思います。

組合長 進化するにも大変な思いもします。物事を繰り返し行うときに、繰り返しはいけない課題を解決していく、繰り返しにも進化させていくことが大切です。

市長は若いから改革する市長に思われがちですが、私の目には市長も改革より進化を重要としているように映ります。自分も改革より、進化を重要としていて、改革派と言われることに違和感があります。

自分は時代に合わせて進化させてただけで、特別なことをしたという意識はありません。農家の進化に合わせて自分たちも変わってきたくらいで、改革なんてしていません。

市長 現状に甘んじないで進化してきたということですね。

プレーヤーは農家なので、我々は、その農家を支えたり、奮起させる役割でなくてはならないと思います。

進化の過程で行われる挑戦に伴うリスクは、実験農場などで肩代わりをする、その結果、農家さんは教訓を学習し最初から失敗を経験しないで済みます。そういった補助をしていくのが大切だと思います。

組合長 「農家に失敗はさせない。代わりに自分たちが失敗体験をいっぱい積み重ねて、それを農家さんに伝えていくんだ」と言った職員がいました。それが今のJA秋田ふるさとの園芸につながっています。

稲作も含めた営農指導も、担い手支援室も、「多様性」を持たせながら、農家さんに前向きになってもらう手法が、徐々に形作られている様子です。

生産調整が廃止された際、あるべ

き生産振興を進めましたが、それは何年も前から取り組んでいたことであり、特別なことではなく本質は何も変わっていません。

本来、農家がお米を作っていくとき、そんなにピタッと目安通り作れるわけがありません。耕作放棄地を生み出さない為に土地を有効活用して欲しいから水田活用米穀を積極的に進めてきました。でも、最初から田んぼで分けるよりは、いかに米作り

りに全エネルギーを傾注してもらえ

るかを考えてきました。生産調整があろうとなかろうと農家が困らなくて済むようにと考え、本来の米作りの環境はこうしないといけないというのを前提に考えてのことでした。

ただ他からは「減反終了後、好き勝手やりやがって」という目で見られましたが、農家の皆さんが田んぼを大事にして、耕作放棄地を生まな

いたために考えてやってきただけです。そうしてとれたお米を流通に関わる人たちが責任をもって振り分けていく。田んぼで振り分けさせるのではなくて、流通の中で、整理していくんだという考えでやったら、たまたまそれが生産調整がなくなっても生産現場で苦勞しなくても済んだという話です。

安心してお米を作って欲しいと考えただけで、やたらに米を売り散らかそうとしたわけではありません。生産現場が頑張ったものをきちんと流通してもらうために、交通整理しただけです。決して、乱暴なことは

してはいないと自分では思っています。

これまでの取り組みや結果を検証して、制度や法律の中で、いかに進化させるかを考えてやってきました。その中で、横手市には協力していただき、助かりました。

市長 今後も、農協と行政が噛み合っていくと、農家にとって良い流れになると思います。そうして農家と農協と行政が、がっぷり四つで生産されたものは市場においても信用されるに違いありません。

組合長 検証してみると、この地域の農業は、農家がこの作物を作りたいと思ったものを、農協主導でも、行政主導でもなく、農家自らが主体になって、行政や農協と三位一体となり、発展していったのが横手市の農業振興のスタイルでした。

農協と行政が農家の皆さんと手を組んで、またその行政と農協が農家の皆さんに追いつく努力をすることで、それぞれが発展していくことが、今度の交換会のテーマになって欲しいですね。

市長 補助金にウエイトを置くのではなく、生産することによりしっかりとプライドを持つ農家さんたちが、互いに高め合っていくのが横手の農業になってくれば良いと思います。

組合長 そうですね。補助金という

のはカンフル剤や後押しのようなものです。それが欲しいからといった目的ではなく、生産者が安心して農業に打ち込み、生活できるように、農協として頑張っていきたいです。

市長 種苗交換会の成功や地域農業発展のため、横手市民や農家の皆様のため、2020年もタッグを組んで頑張っていきましょう。



ふるやと産品令和元年を振り返る

【園芸・果樹】を振り返る

販売額計49億9000万円（前年度同期比99.5%）

園芸

令和元年の気象を振り返ると、春先は過去10年間の平均より2週間早い3月15日の雪解けとなり、順調に進むものと思われしました。しかし、4月に入り例年になく低温と雨が続き、農作業の準備は思うように進みませんでした。気温が回復したのは5月連休の後半からとなり、その後は25℃以上の日が13日間観測され、下旬には異例の30℃を記録するなど干ばつ傾向となりました。また、6月中旬になると気温は一転し低温が続き、前年より4日早い6月15日の梅雨入りとなり、下旬には一部集中豪雨となるなど変動が激しい月でありました。7月になると気温は平年値を超える日が続くものの曇天の日が多く、干ばつ傾向ではあるも梅雨明けは前年より12日遅い7月31日でした。8月10日には大雨となり災害が心配されましたが、7月20日から8月22日まで、30℃を超える猛暑となり乾燥が続きました。その後の9月に入ると概ね気温が高くなり、台風の影響が少なく、定期的な雨が降り続きました。10月に入ると台風の影響が少なく、特に台風19号の影響が少なく、大きな被害もなく経過しました。

果樹

園芸品目については、4月の低温によりアスパラガスの収穫量は激減し、枝豆の播種作業時には干ばつによる発芽不良と生育遅れ、トマトは高温により花芽が飛び出荷量は少なく、花卉においては前進傾向で生育し、何かにおいても高温干ばつの影響が多い年となりました。しかし、露地野菜でも灌水管理をしっかりと行ったことで、西瓜・きゅうりなど、前年度を上回る出荷実績となった品目もありました。販売額については、消費地の気象の影響で大きく左右され、特に関東地方の梅雨明けが例年になく遅かった事で、7月の西瓜・枝豆・きゅうりの販売低迷が続きました。梅雨が明けると販売は一転し引き合いが強くなり、特に西瓜については好調な販売環境となりました。現在、菌茸類が本格的な出荷となっており、消費地が暖冬傾向である事で、販売苦戦をしている状況です。今年度については、干ばつの影響はあったものの、出荷量は概ね確保出来ましたが、販売単価で推移したことから、56億円の計画を下回る実績となる見込みです。

りんご

開花期は降雨や低温により天

候が安定せず、結実量は園地によりばらつきが見られました。弱小芽が多かったためか開花量自体にばらつきが大きく、花がほとんど無い枝・樹も散見され、生産量への影響が懸念されました。開花期以降は気温の高い日が多かったことで、果実の初期肥大は良好でしたが、夏場の高温干ばつにより生育が鈍化、収穫期には平年並みとなりました。また、開花期の天候不順による変形果、弱小芽の影響で青実果が目立っております。JA集荷量については、早生品種「つがる」では前年度のよりな日焼け被害も少なく前年比11.8%、中生種「やたか」ではやや小玉傾向だったことと青実果の影響も99%、「シナノスイート」は生産量が増えており同12.0%となっております。晩生種「ふじ」については、前年度と比べ小玉傾向のため、集荷量は前年度実績に届かない見込みです。また販売面では、早生種「現」在販売中の「ふじ」まで、前年度並みかそれ以上の単価で推移しております。なお、りんごの選果作業は1月いっぱい終了する見込みです。

ぶどう

本年度のぶどう販売実績は、集荷量483ト（前年比11.9%）、販売額1億9300万円（同12.5%）で、販売額においては当年計画も1割ほど上回る実績となりました。一年を通して栽培環境に恵ま

もも

「あかつき」までは夏場の高温、干ばつの影響による小玉傾向、軟質果のため前年度並みの集荷量でしたが、主力の「川中島白桃」以降は一転して製品率がアップし、集荷数量が急増、合計の集荷量は前年度比15.5%となり、過去最高を記録することができました。

さくらんぼ

開花期の受粉環境は不利な条件下でしたが、個々の差はあるものの、一定の結実量が確保されました。主力の佐藤錦では、山形県産の不作が判明したところから特に関東方面での引合いが強く、販売単価の維持が出来ました。ふるさと合計の集荷量は前年度比85%にとどまりましたが、販売金額では前年度を上回り、前年度比106%で終了しました。



● 令和元年園芸・果樹生産販売実績(11月末現在)

総合	令和元年度実績		令和元年度年間計画				平成 30 年度同月実績				
	数量 (t、本)	販売額 (円)	数量 (t、本)	対比	販売額 (円)	対比	数量 (t、本)	対比	販売額 (円)	対比	
野菜	きゅうり	1,008.24	291,352,692	1,000.00	101%	300,000,000	97%	908.10	111%	320,653,674	91%
	トマト	451.54	121,357,801	535.00	84%	160,328,000	76%	462.10	98%	164,140,876	74%
	西瓜	5,986.18	1,207,282,439	5,562.90	108%	1,080,080,000	112%	5,218.30	115%	1,110,290,174	109%
	枝豆	360.45	212,713,156	371.00	97%	230,000,000	92%	313.10	115%	222,883,679	95%
	アスパラガス	72.25	87,018,266	88.00	82%	104,000,000	84%	75.40	96%	95,658,177	91%
	食用菊	4.99	7,241,828	7.00	71%	10,000,000	72%	5.90	85%	9,010,736	80%
	山菜	0.63	3,181,115	3.14	20%	11,841,000	27%	1.66	38%	5,598,499	57%
	メロン	25.14	10,045,905	23.10	109%	9,406,000	107%	23.30	108%	9,831,316	102%
	シシリアンルージュ	20.05	6,956,344	25.00	80%	10,000,000	70%	18.00	111%	8,151,729	85%
	ピーマン	47.01	24,768,498	61.90	76%	30,861,000	80%	53.80	87%	32,601,598	76%
	にら	55.31	24,807,536	65.90	84%	32,528,000	76%	61.60	90%	30,833,904	80%
	せり	5.23	8,330,668	5.60	93%	8,605,000	97%	4.60	114%	7,002,937	119%
	ホウレン草	253.50	193,980,640	281.98	90%	218,818,000	89%	265.20	96%	208,050,335	93%
	小松菜	72.80	28,216,238	83.00	88%	33,588,000	84%	82.72	88%	31,864,270	89%
	みつば			1.02		6,030,000		0.00		0	
	ミニカリフラワー	13.92	2,706,198	26.00	54%	4,550,000	59%	13.60	102%	2,996,419	90%
	塩蔵野菜	26.43	5,602,780	45.20	58%	8,182,000	68%	33.40	79%	5,734,264	98%
	ネギ	239.54	72,345,152	306.82	78%	91,409,000	79%	269.40	89%	103,441,311	70%
	里いも	31.77	20,947,789	51.57	62%	29,484,000	71%	41.80	76%	26,103,530	80%
	アスパラ菜	1.31	801,446	17.00	8%	11,179,000	7%	2.21	59%	1,407,583	57%
そら豆	14.22	7,305,930	17.16	83%	6,424,000	114%	13.54	105%	6,122,214	119%	
朝採り野菜	86.73	27,588,191	102.89	84%	36,880,000	75%	83.90	103%	33,362,652	83%	
安心畑他		82,328,747	0.00		123,664,000	67%	0.30		86,021,890	96%	
その他野菜	120.93	40,378,566	855.00	14%	74,147,000	54%	324.70	37%	49,989,797	81%	
野菜計	8,898.17	2,487,257,925	9,536.17	93%	2,632,004,000	95%	8,276.63	108%	2,571,751,564	97%	
花卉	菊	6,903,280	362,231,911	7,230,000	95%	433,265,000	84%	7,035,030	98%	437,230,922	83%
	ゆり	479,010	41,116,040	463,300	103%	39,072,000	105%	417,225	115%	34,205,915	120%
	シンビジウム(鉢)	166	157,680	4,800	3%	12,100,000	1%	318	52%	324,432	49%
	シンビジウム(切花)	1,014	591,029	56,000	2%	39,480,000	1%	2,472	41%	1,598,850	37%
	トルコギキョウ	555,460	79,589,652	667,300	83%	101,253,000	79%	560,630	99%	90,774,706	88%
	その他花卉	675,255	54,049,936	841,900	80%	62,963,000	86%	672,442	100%	50,617,234	107%
花卉計	8,614,185	537,736,248	9,263,300	93%	688,133,000	78%	8,688,117	99%	614,752,059	87%	
菌茸	菌床しいたけ	1,076.00	1,327,904,150	1751.7	61%	2,173,401,000	61%	962.6	112%	1,173,011,629	113%
	原木しいたけ	9.88	8,914,961	18.6	53%	18,244,000	49%	9.9	100%	9,840,940	91%
	エリンギ	0.90	1,060,649	6.3	14%	5,930,000	18%	1.2	75%	1,461,619	73%
	なめこ	47.49	26,116,769	79.0	60%	43,727,000	60%	48.8	97%	26,981,100	97%
	ぶなしめじ	27.13	15,215,323	59.6	45%	35,973,000	42%	29.5	92%	17,397,990	87%
	ひらたけ	2.66	1,348,982	10.5	25%	5,646,000	24%	3.2	83%	1,625,651	83%
	その他菌茸			0.0		0		0.0		0	
菌茸計	1,164.07	1,380,560,834	1925.74	60%	2,282,921,000	60%	1,055.19	110%	1,230,318,929	112%	
果樹	りんご	746.14	197,216,759	5,344.92	14%	1,011,196,098	20%	1097.32	68%	262,243,688	75%
	ぶどう	348.23	158,657,148	493.20	71%	175,236,100	91%	336.18	104%	131,821,239	120%
	西洋なし	428.08	107,767,304	465.58	91.9%	115,406,120	93.4%	404.08	105.9%	108,957,483	98.9%
	さくらんぼ	21.43	40,732,546	26.58	80.6%	40,728,176	100.0%	25.08	85.5%	38,418,815	106.0%
	もも	195.72	80,815,498	175.39	112%	70,055,345	115%	126.41	155%	54,732,455	148%
	その他果実	0.95	374,859	3.32	29%	1,952,140	19%	3.23	30%	1,889,660	20%
果樹計	1,740.55	585,564,114	6,509.00	26.7%	1,414,573,979	41.4%	1992.30	87.4%	598,063,340	97.9%	
総合計			4,991,119,121			7,017,631,979	71.1%			5,014,885,892	99.5%

【稲作】を振り返る

作況指数104、「ふるさとecorais」集荷率90.9%に

育苗期

気温の変化が
大きく、風が強い!!

播種作業の盛期（50%）は4月26日（平年比1日早い）となりました。

播種期以降、育苗期間中は天候が数日の周期で変わり、気温の変化が大きく、また、風の強い日が多かったことからハウスの温度管理が難しくなり、一部でモミ枯れ細菌病などの発生が見られましたが、苗の生育は概ね良好となりました。

本田

耕起・代掻き・田植え
作業は平年並み!!

耕起作業は、4月の気温が高く降雨も少なかったことから平年よりやや早めに始まり、全体的には平年並みに作業が行われました。

田植え作業は、盛期が5月24日（平年比1日早い）となりました。田植期間全体を通して気温の高い日が続いたため、活着は概ね良好となりました。ただし、5月19日から20日にかけての強風により、植え傷みによる活着の遅れや分けつの遅れが若干見られました。

初期 ～ 中期

生育は平年並み!!

梅雨入りが6月15日となり、その後気温が平年を下回る日がありました。5月の高温により苗の活着は順調に進み大きく影響されませんでした。有効茎決定期（6月25日）では草丈がやや短いものの、茎数はほぼ平年並み（平年比98%）、葉数は平年より3日程度進んでいる状況となりました。

幼穂期 ～ 減分期

茎数の増加
収量増の予感!!

初期生育が順調に進んだことや、7月の気温が、最高気温が高く最低気温がほぼ平年並みと一日の温度較差がある気象が続き、減数分裂期（7月25日）では草丈が短く（平年比90%）、茎数が多く（平年比104%）、葉数は平年並みとなりました。

出穂期 ～ 登熟期

登熟早まり、
刈り遅れの懸念!!

管内の出穂盛期は8月3日（平年比1日早い）となりました。出穂期以降の気温はかなり高く推移し、乳白米、腹白米などの発生が懸念されました。登熟期の生育状況は、一穂粒数は

収穫期

刈り取りは平年並み!!

収穫始期は平年より3日早い9月21日となりましたが、出穂のバラつき、登熟のバラつき等により盛期は10月1日（平年並み）、終期が10月11日（平年並み）となりました。

病害虫

カメムシ対策は
継続的に!!

葉いもち病の発生状況は、7月上旬に病斑の急増が確認され全般発生開始期となっております。発生時期としては「やや早い」発生となりました。葉いもちの発生がやや早かったことや、穂いもちへの伝染源が多かったこと、また、8月の降水量が平年並みだったため、一部で穂いもち病の被害が見られました。また、イナゴの発生量が多かったことが特徴でもあります。これに関しては、フタオビコヤガ

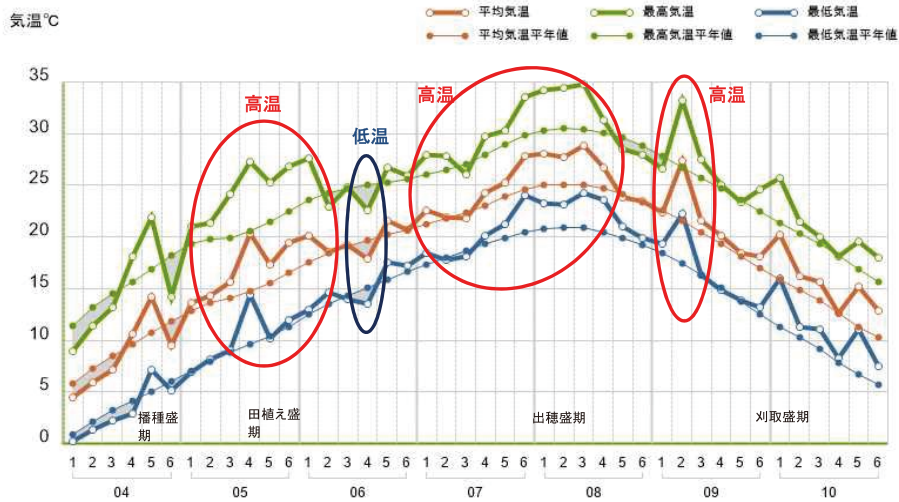
（イネアオムシ）の大発生した翌年より箱施用剤をフェルテラ剤に変更したことで、適登録がなかったイナゴ類が近年発生量の増加となっております。このことから、令和2年度の資料注文書には、適登録への効果を考慮しバランスのとれた箱施用剤への移行を進めております。

斑点米カメムシ類については、前年の越冬卵が多く、発生時期も早いと確認されており、また、生育期間を通して、気温が高く降水量が少なかったため、カメムシ類の活動が活発になり、発生回数・発生量が多くなったと考えられます。そのため、斑点米カメムシ類による被害が懸念され、稲作情報等で斑点米カメムシ類防除の徹底を呼びかけましたが、結果的にカメムシ類による被害が広範囲で見られました。被害を受けた例をみると例年同様で、①ヒエやホタルイの残草が多い圃場 ②農道・畦畔の草刈りが実施されていない圃場 ③雑草対策や防除対策が実施されていない飼料用米、WSCの圃場が隣接している圃場 ④毎年被害を受けているのに、計画的に防除が実施されていない圃場 ⑤特に本年は、例年被害を受けていない圃場でもカメムシの被害を受けております。

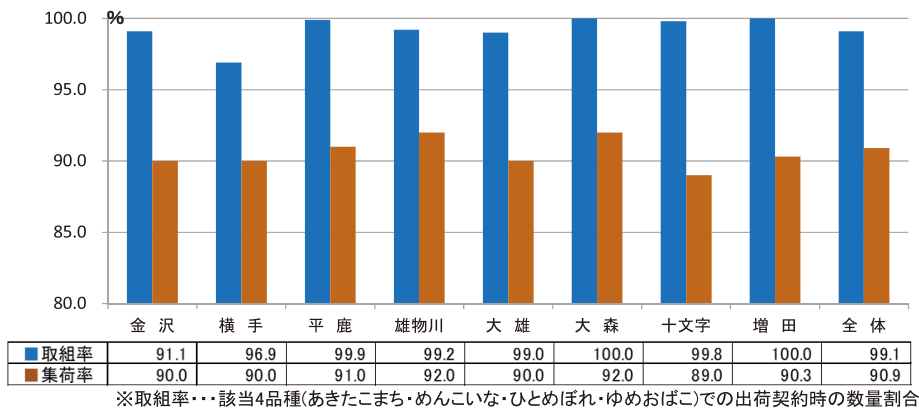
今後被害を受けない対策として、「水田内の雑草対策」「水

令和元年産米の「気温経過」と「集荷率」

【気象経過】平成31年4月～令和元年10月(アメダス横手:半旬)



令和元年産「ふるさとecorais」地区別取組み率・集荷



まとめ

田周辺の農道・畦畔の草刈の実施、飼料用米等の圃場も通常の管理を実施、常発地、被害が予想される圃場、発生量の多い年は、本田2回防除が基本、こうした対策を継続的に実施することが大切となります。

令和元年10月30日農林水産省の発表によると、秋田県の令和元年産米の作況指数は、秋田県全県「104」県南「104」の「やや良」となりました。要因として1穂粒数は少なかつたものの、穂数が多かつたため、 m^2 当たり粒数は平年より多く、登熟(開花、受精から成熟期までのもの)の肥大、充実も出穂後の気温・日照時間共に平年を上回って推移し、また、適度な降雨もあったことにより、登熟歩合も高くなり、総合的に「やや良」となりました。

買入れ数量については、民間流通米契約数量対比100・8%(11月末)。数量にして約6,500俵ほど契約数量を上回りました。

1等米比率においては、88・6%と過去10年で3番目に悪い1等米比率となっております。2等以下に格付けされた理由をみると、カメムシ被害が80・4%

で最も多く、次いで未熟粒、充実度不足となっております。(参考資料1等米比率秋田県85・5%。全国72・9%)

玄米の品質面では、分げつが多く、穂数が多くなつたことによりタンパク質の数値が上がつたものの、アミロースの数値が下がつたため、総合的な食味値は約73と平年並みの良食味米となりました。

「ふるさとecorais」への取組みも7年目となり、計画段階での米契約時における取組みの割合は、99・1%とほぼ全量に近い取組み率となりました。最終的には農家の皆さんから提出された防除日誌による確認や、1・2等米の等級格付けにより、「ふるさとecorais」の最終認定をしたところ、カメムシ被害による格落ちはあつたものの、90・9%の集荷実績率となっております。

最後に、令和2年度は米の生産目標数量配分の廃止3年目になります。JAでは他産地の動向も注視しながら、JAの生産・販売方針である「より信頼される産地・売り切れる米産地」の確立を目指して、全生産者の皆様と取り組んでまいりますので、引き続きご協力をお願いいたします。



「第21回 J A秋田ふるさと秋田女性大会・家の光大会」が12月4日、秋田ふるさと村ドーム劇場で開かれ、各支部の女性部員や地域部員や地域住民、J A役職員など約700人が参加しました。部員同士の相互の交流を深めるため、地域を支える女性を中心となり会場を埋め尽くしました。

第21回 JA秋田ふるさと 女性大会・家の光大会

—JA秋田ふるさとふれあいセミナー2019—



大会冒頭の挨拶ではJ A女性部の神谷光子部長が「女性部は高齢化・部員減少などの課題もあるが、地域でより元気に活躍していけるよう、各地区の特徴ある活動を頑張っていく」と呼び掛けました。

続いて小田嶋契組合長が「生き生きと過ごすために、雪国において冬を同大会のように楽しむことが大事。本日も楽しもう」と挨拶しました。

J A女性部大雄支部の小松友子支部長は食・農・地域の活性化を目的とした令和元年度の組織活動を報告。今年度で7年目になるポイントカード制度に触れ女性部員減少の対策を実施していることや、各種イベントでおにぎりやいものこ汁などを振舞った活動等を振り返り、今後自分たちも楽しみながら地域と共に活動を継続していくと、今年度の活動と今後の決意を報告しました。

また同横手支部の高階ヤス子さんが「地域と仲間と『家の光』とともに」と題した家の光記事活用体験を発表しました。高階さんは若妻会に加入してから現在までの約40年となる女性部での活動を紹介。雑誌「家の光」が自身の日々の生活と女性部での活動に如何に刺激を与えてくれ



●大丈夫



大雄



●カメラオン・アーミー
●見上げてごらん
夜の星を



大森



●マツケン
サンバ2



十文字



●増田盆踊り



増田





ているか、事例を交えながら発表し、会場からは大きな拍手が沸き起こりました。

恒例となった各支部のアトラクションでは、その後に行われた秋田出身の芸人による「地産地笑」秋田の演芸、大競演!!」のプロのステージにも負けない熱いパフォーマンスが披露されました。カラフルな衣装を身にまとい、よく構成された各支部のアトラクションに大盛り上がり。ステージも観客席も笑顔が弾けました。

こうして、同大会は大盛況のうちに閉幕しましたが、女性部の祭典にふさわしく笑顔が溢れ、華々しく開かれた同大会の熱気は、記録的な大雪に見舞われた会場に積もった雪も解かすほどでした。

①会場の入り口には女性部活動作品が展示され、目を引いた ②③笑顔が咲いた会場 ④開会前諸注意の様子 ⑤JA女性部 和泉陽子副部長による開会の言葉 ⑥小田嶋契組合長のあいさつ ⑦神谷光子女性部長による挨拶 ⑧組織活動報告を行う大雄支部の小松友子支部長 ⑨⑩家の光記事活用体験発表を行う横手支部の高階ヤス子さん ⑪JA女性の歌を来場者と斉唱し会を閉じた ⑫演芸コーナーの進行の「宇奈月満」さん ⑬「住みます芸人」の「ちえす」の二人が漫才を行った ⑭⑮「変面チンミン」と、ものまね歌手「翔子」さんは客席を回り、会場を盛り上げた ⑯お楽しみ抽選会では演芸コーナー出演者と、この日の司会を務めたラジオパーソナリティーの柴田優子さんがプレゼンターを務め、当選者の発表毎に会場からは歓声が上がった



●花は咲く
●三百六十五歩の
マーチ



金沢



●お久しぶりね
●クリスマス
ソングメドレー



横手



●桃太郎金太郎
●浦島太郎
●パプリカ



平鹿



●片時雨
●恋はひと
●四季の歌



雄物川



令和元年11月29日（金）に第2回組織再編協議会が開催されました。

当協議会が設立されてから約半年が経過しましたが、この間に事業別部会を数回開催し、合併構想案の検討を行っています。これまでの検討経過等についてご報告いたします。

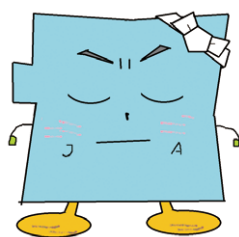
**基本構想の素案は
今年度末までに！**

7月の組織再編協議会設立以降、各事業別の部会を毎月開催し、県1JAの合併基本構想等を検討しています。部会は営農、販売、購買、信用、共済、総務管理、くらし高齢者福祉の7つに分け、各JAや県域組織の部課長等で構成しています。

今回、11月29日に二回目となる組織再編協議会を開催して、これまで実施してきた事業別部会や業務別委員会の検討内容を報告し、組合長レベルの話し合いが行われました。

県1JA基本構想の検討素案は、まだまだ検討の段階です。組合員の皆様には、今年度末頃を目途に素案をお伝えできるよう進めています。

もうしばらくお待ちください



けんいちくん

**どのような項目を
検討しているの？**

昨年11月に開催した第30回秋田県JA大会で示された通り、県1JAは「農家・組合員の農業所得向上と農業生産拡大のため、総合事業のもと、オール秋田体制で営農経済事業にひたむきに取り組むJA」の実現を目指しています。

その中心となる営農、販売、購買の各部会では、県1JAならではの強みを発揮するための体制づくりや、求められる営農指導のあり方、利便性の向上を図るための施策等について検討しています。

信用、共済、くらし・福祉部会では事業部門として組合員や地域の利用者の皆様のどのような支援していくべきか。総務管理部会では、大規模なJAに相応しい経営体制等について検討しています。



**「県1JAに期待すること」
皆様からご提言を募集！**

県1JAは5年後の令和6年度の実現を目指しています。研究・協議はまだ始まったばかりです。

組織再編協議会事務局では、左記の通り「県1JAになったらこんなことをしてほしい」「こんなJAと仕事したい」等々、県1JAに期待することを皆様から募集します。

皆様からのご提言を是非お寄せ願います。お待ちしております。

「県1JAに期待すること」 募集要項

1. 募集対象
JAに期待をよせる全ての方々
2. 募集締切：令和2年1月末まで
3. 応募様式等詳細は
JA秋田中央会ホームページにて
<http://www.ja-akita.or.jp/>

JAグループ秋田組織再編協議会事務局
(総務管理班：TEL018-864-2120)

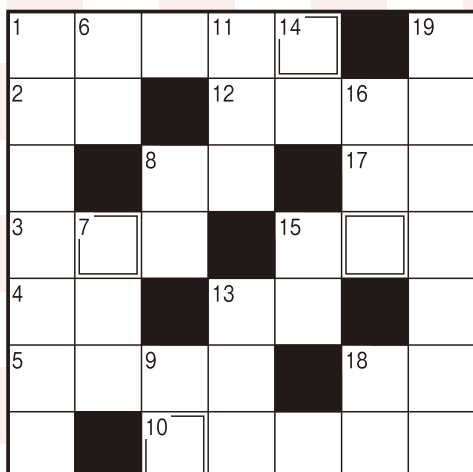


新春クロスワードパズル

タテの鍵
1、「生麦生米生卵」とか「東京特許許可局」とか
6、夫の配偶者です
7、生まれたばかりの赤ん坊のこと
8、ゆっくりつかって「極楽、極楽」
9、剣や弓矢、大砲などのこと
11、首の後ろ側の部分
13、——をのんでなりゆきを見守った
14、刑事を意味する俗語
15、お酒は飲めない体質です
16、こたつに似合う果物の記号で表すこと
18、だて巻き、数の子、黒豆などを重箱に詰めて用意します



※12月号の当選者については2月号でお知らせいたします



ヨコの鍵

- 1、元日の寺社が混雑する理由
- 2、霊峰も銀峰もこれです
- 3、バイオリンやピアノより大きな弦楽器
- 4、魚偏に里と書く魚
- 5、破（わ）れ鍋にお似合いです
- 8、——ニタカミナスビ
- 10、擦りむいた膝やあかぎれに塗ります
- 12、浅草寺の表参道にある——商店街
- 13、今より前の時点
- 15、てこの——を利用して重い物を動かした
- 17、グーとパーではパーの方
- 18、英語ではkingと言います

お年玉プレゼント

(JA秋田ふるさと総務課広報担当 行)

①クロスワードパズルの答え

②住所 〒

③氏名 ふりがな (P.N.)

④年齢 歳 ⑤電話番号

⑥該当する組合員区分 ※○をつけてください

正組合員・正組合員家族・准組合員・員外

⑦今月の好きな記事とその理由
または当誌やJAへのご意見・ご感想



※写真はイメージです

JA秋田ふるさと直売の会

「ふるさと安心畑」おすすめセット **15** 名様

【応募方法】

ハガキに左記①～⑦までの項目をご記入の上、下記までご応募ください。左の点線を切り取って管内最寄りの支店まで持参いただくかハガキに貼り付けてもご応募できます。なお、お寄せいただいたご意見は「おたより」のコーナーにて回答させていただく場合がございます。

【応募先】

JA秋田ふるさと総務課広報担当 またはJA秋田ふるさとホームページ <http://www.akita-furusato.or.jp/> からでもOK。「みなさんの声と作品をお寄せください」バナーをクリック！

【応募先】 令和2年1月25日(土)当日消印有効

「ふるさと安心畑」より 新春セールのお知らせ

J A秋田ふるさと直売の会「ふるさと安心畑」イオンSC横手南店では、1月2日、新春セールを行います。野菜や果物、加工品などを詰め込んだ「福袋」(限定30袋)のほか、餅まきも実施!

帰省される方へのお土産品などもご用意してお待ちしております。ぜひ、お越しください!

開催日時/令和2年1月2日(木) 10:00~
※無くなり次第終了

場 所/「ふるさと安心畑」
イオンSC横手南店

実施内容/①福袋限定30袋(税込1,080円)販売
②餅まき11:00(イオンSC2階)



【お問い合わせ】

営農企画課

ふるさと安心畑担当 0182-23-6552

ATM年末年始営業のお知らせ

年末年始のATM営業日は次の通りとさせていただきます。ご利用の際は、営業日時をご確認の上お願いいたします。

	営業時間
12/30(月)	8:45 ~ 21:00
12/31(火)	9:00 ~ 17:00
1/1(水)~1/3(金)	休 止
1/4(土)~1/5(日)	9:00 ~ 17:00
1/6(月)	8:45 ~ 21:00

※雄物川支店ATMは12/31(火)、
1/4(土)~1/5(日)19:00まで営業します。

【お問い合わせ】各支店窓口 または
金融共済部金融課 0182-35-2653 まで

甘党祭
DATINGPARTY
IN YOKOTE

の〜コン! Vol.10

横手で見つかる
HOTな出会い

横手市の若手農家が地域の発展や交流を真剣に考え、
出会いと交流のきっかけを提供する事業「の〜コン!」

2020.2.15 [SAT.]
18:00 START!

参加者募集!

チョコ&チーズフォンデュを
囲みながら出会いを楽しもう!

軽食中心の立食パーティーとなります。
イラストは実物とは異なります。メニューは当日までのお楽しみに。

開催日時 2020年2月15日(土)18:00~20:00(受付17:30~)

会 場 横手セントラルホテル

参加資格 20~45歳の未婚男性・未婚女性

募集人数 男性20名/女性20名

参加費 男性 4,000円/女性 1,000円

締 切 日 2020年2月7日(金)
定員に達し次第、お申し込みを締め切ります。
キャンセルは2月12日(水)までに連絡ください。

お申込方法
右のQRコードより応募フォームへアクセスし、必要事項を入力の上、応募下さい。JA秋田ふるさとセンターホームページからも応募可能です。
※ご連絡が取れるようメールアドレスの設定もご確認の上、ご応募ください。

お問合せ先
婚活実行委員会 事務局
JA秋田ふるさと農業経済部農産企画課(富岡)
TEL.0182-23-6552 平日 8:30~17:00
FAX.0182-23-6501

WEB <http://www.akita-furusato.or.jp>
E-MAIL ja-ak-kkai@akita-furusato.or.jp

秋田ふるさと農業経済部青年部 協賛

Facebookで
情報発信中!

主催:JA秋田ふるさと青年部 この事業は横手市若者交流事業の助成事業です。お預かりした個人情報は他の目的で使用することはありません。

J A秋田ふるさと女性部 フレッシュ部会 主催 「フレッシュの集い」開催のお知らせ

流れをよくして健康美人に!!

簡単リンパケア

講師:遠藤真智子氏

エステティックサロン フルーデリー

※持参するもの…動きやすい服装、タオル、
マイボトル、ポイントカード
体を動かしたあとは…**みんなでランチ**

開催日/令和2年2月11日(火)10:00~15:00

場 所/よこてシャイニーパレス

参 加/先着40名様

(定員になり次第締め切ります)

参 加 料/1人1,000円

申込方法/J A各営農センターへ

申込締切/令和2年2月3日(月)

【お問い合わせ】J A各営農センターへ



ふるさと燃料サービス 年末年始の営業について

年末年始の営業は次の通りとなっております。
本年もご愛顧の程よろしく申し上げます。

SS名	12月31日 (火)	1月1日 (水)	1月2日 (木)	1月3日 (金)
金沢	7:30-16:00	休業日	8:00-17:00	8:00-17:00
横手中央	7:30-16:00		8:00-17:00	8:00-17:00
横手南	7:00-20:00		7:00-21:00	通常営業
平鹿	7:30-16:00		8:00-17:00	8:00-17:00
大雄	7:30-16:00		8:00-17:00	8:00-17:00
川西	7:30-16:00		8:30-17:00	8:30-17:00
八沢木	7:30-16:00		8:30-17:00	8:30-17:00
十文字南	7:00-16:00		8:00-17:00	8:00-17:00
新增田	7:00-16:00		8:30-17:00	8:30-17:00
福地	7:00-18:00		7:00-18:00	通常営業
沼館	7:30-16:00		8:00-17:00	8:00-17:00
配送センター	8:00-15:00		通常営業	通常営業
LPガスセンター	8:30-16:00		休業日	通常営業
本社	8:30-16:00		通常営業	通常営業

1 / 4 (土)からは通常営業いたします。

「ふるさとオートランド」より

新春初売りのお知らせ

令和2年1月11日・12日開催

☆お買得

未使用車・特選中古車多数ご用意！

☆期間中ご成約の方へ

豪華プレゼントをご用意！

☆新型ハスラー先行受注



株式会社ふるさとオートランド
横手市安田字堰端96 TEL 0182-33-5995

日頃の感謝を込めて 第3回



開催日 2月19日 (水曜日) 完全予約

開催時間 受付18:00 開宴18:30

会場 よこてシャイニーパレス5階ホール

料 理 5,000円 (税サ込)

※当日お料理は盛り込み料理となります。

オプションチケット

アルコール飲み放題 2,000円 (税サ込)

ノンアルコール飲み放題 1,000円 (税サ込)

小中学生2,000円 (ドリンク付き) 幼児無料

お問合せ

横手市駅前町6-22 よこてシャイニーパレス内

株式会社 いずみ TEL 33-1439



こんぶりちえ倶楽部

第2回 男の料理教室

今回は、簡単な
季節のおかず、
作ります！



開催日：令和2年1月25日(土)

日程：午前10時 開始
(午前9時30分受付)
正午 閉会予定

場所：平鹿生涯学習センター
(浅舞公民館) 調理室

会 費：一人1,000円

参加人数：20人

お問い合わせ

JA秋田ふるさと営農企画課 こんぶりちえ倶楽部事務局 ☎0182-23-6552

ja-ei-kikaku@akita-furusato.or.jp



ふるさとの民話

福嬢子

●再話／中川文子 ●画／佐々木愉美子

昔むがし、爺様と婆様と二人して暮らしてだけど。

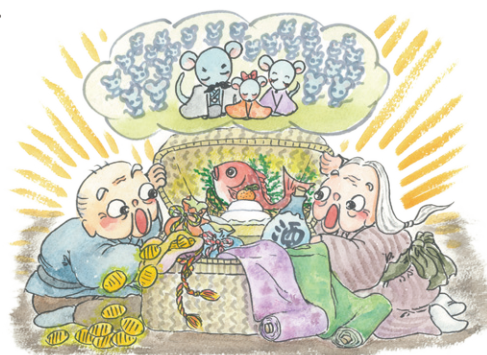
爺様、正月に土間掃いでだば、豆粒二つ落ちてだけど。「あら、惜しごと」って拾って、泥っこ落として埃っこ払って、綺麗にして「福嬢子に上げ申す」って言ってがら、土間の隅っここの鼠穴さ落としてやったけど。

次の日、鼠穴がら赤ぎや鉢巻きした母ネズミが出でて、「昨日は豆っこ、ありがどさん。あの薬豆のお陰で、長患いしてだ娘の病がすっかり良くなつた。床上げの祝いさ来てもらいでやくて、迎ぎやえ来た」って言うけど。爺様、せっかくだがらって、行くごにしたらけど。「したら爺様、俺らの背中さ負れれ。良えって言うまで、眼、瞑ってれよ」って言うけど。暫ぐしたば、「爺様、眼開げだつて良え」って言うけど。おそる

おそる眼開げでみだば、其処は黒塀回した立派なネズミの御殿だつたど。主人ネズミとご頭に、総出で出迎えてだけけど。

爺様、座敷さ通されで金欄緞子の座布団さ座まらせられで、朱塗りの膳こさ朱塗りの椀こで、餅がら清酒がら見だごどのねやえた料理御馳走になつたけど。

食い終わつたば「屋敷の中、案内する」って言うけど。隅々まで掃ぎ清められで、掛軸がら壺がら沢山飾られでだけど。屋敷の後ろさは白壁の倉が並んで、一の倉開げで見せだけど。千両箱だの万両箱だの積まれでる金倉だつたど。二の倉開げだば、良え香りっこがプンとしてきたけど。天井がら酒っこが落ちてくる酒倉だつたど。三の倉は着物物が詰まつた長持箆の倉、四の倉は味噌蔵、五の倉がらは♪ネズミと樵は引がねやば



食れねや ジャコモコ ジャコモコ♪って唄つこ、聞げでくるけど。若勢ネズミ達、白引きしてだけど。白の中さは鬼の牙みでやえた米、ザクザクとたまつてえぐけど。面白れて、時間経つな忘れてみどれでだど。

主人どさ「婆様が待ってるがら戻る」って言つたば、お土産だどて大きな葛籠、持ががせだけど。

来た時みでんたぐ、ネズミの背中さ負れで、眼開げだば、家の土間さ立つてだけど。婆様と二人してお土産の葛籠開げで見だば、錢がら金がら着物がら餅がら清酒がら、もっこり入ってだけど。爺様と婆様、大層た良え正月、迎ぎやだけど。とっぴんぱらりのふう



▲QRコードを読み取ると
音声で「ふるさと民話」をお楽しみいただけます。

JAの概況

Situation

組合員数	17,608人
（正組合員）	12,512人
（准組合員）	5,096人
貯金	1,112億9,783万円
貸付金	340億2,384万円
購買品供給高	43億1,736万円
販売品販売高	173億9,331万円
共済保有高(保障)	3,774億8,860万円
(2019年11月末現在)	

光陰矢のごとし「年をとるほど時間の経過が早い」という感覚、皆さんも感じられていると思います。(と)の場合、広報業務を担当してからは締切りに追われる日々となり、その感覚が矢のように加速しております。元号が変わり新しい時代が始まりました。自分を見失わないようゆっくりゆっくり歩みを進めたいと思っております。新年もよろしく願いたします。(と)

2019年は多くのご協力を賜り、ありがとうございました。2020年の干支は子年ですが、鼠は英語でマウス。正直、イメージの悪い動物。しかし古事記では大国主命を助け、神仏習合されると大黒天の使者となり、五穀豊穡や実り・財力の意味を持つようになるといわれています。動物ではないみたいです。私も取材の際に「猫の前の鼠」(手も足もないこと)とならないように、日頃から研鑽を積みみたいと思っておりますので、新年もどうぞ宜しくお願い致します。(た)

編集後記

JA通信 ふるさと

発行／秋田ふるさと農業協同組合
企画・編集／総務課 〒013-0036秋田県横手市駅前町6番22号
印刷／(株)全農ビジネスサポート秋田支店

TEL／0182-35-2630
FAX／0182-35-2701
E-mail／fu.staff@akita-furusato.or.jp

秋田ふるさと

検索

検索サイトでJAのホームページに簡単アクセス！

